

町営住宅入居者募集

令和8年度 第3回町営住宅入居者募集について次のとおりお知らせします。

募集期間

11月2日(月)～11月20日(金)

募集団地

- ・第1内池団地(内池150番地)
平成14年築(木造2階建)2DK
- ・第2内池団地(内池152番地)
昭和63年築(PC造3階建)3DK
- ・西山団地(豊田205番地23)
昭和60年築(PC造2階建)3DK

入居資格

次の①～⑦すべてに該当する方

- ①町内に居住しているまたは勤務地を有していること(3か月以上)
 - ②持ち家(共有名義を含む)がなく、住宅に困窮していること
 - ③税・公共料金等を滞納していないこと
 - ④現に同居し、または同居しようとする親族がいること
- ※ただし、次の(1)～(6)のいずれかに該当する方は単身でも入居できます。
- (1)生活保護を受けている方
 - (2)60歳以上の方
 - (3)身体障がい者でその障がいの程度が1級から4級までの方
 - (4)精神障がい者でその障がいの程度

が1級から3級までの方

- (5)知的障がい者でその障がいの程度が精神障がいの程度に相当する方
- (6)DV被害者に該当する方

- ⑤1か月あたりの収入が定められた基準以下であること
- ⑥連帯保証人(2名)をたてられること
- ⑦申込者および同居親族が反社会的勢力に属さないこと

月額家賃

入居者の収入および住宅の諸条件により決定します。

入居可能予定日 令和8年12月下旬

今後の募集予定

次回の町営住宅入居者募集について次のとおり実施する予定です。

第4回 令和9年2月1日(月)～2月19日(金)

※入居者の入退去、住宅の状況等により募集団地の変更等生じる場合があります。戸数・規格・家賃の詳細・最新の情報は、町ホームページをご覧ください。



町ホームページ

問

建設計画課 都市計画担当
0748-5216567

子どもの笑顔がいちばん！児童虐待は社会全体で解決すべき問題です。

11月は児童虐待防止推進月間(オレンジリボンキャンペーン)です

児童虐待とは、

- 身体的虐待…殴る、蹴る、投げ飛ばすなど
- 性的虐待…子どもへの性的行為、性的行為を見せるなど
- ネグレクト…食事を与えない、ひどく不潔な環境など
- 心理的虐待…暴言、無視、子どもの前で家族等に暴力をふるうなど

【児童相談所虐待対応ダイヤル】

虐待かも…と思ったら **189** (24時間対応)

子どもや保護者、こんなサインがあれば注意を！

- 子どもの様子
 - ・不自然なあざ、傷、やけどの痕がある
 - ・いつも子どもの泣き叫ぶ声や大人の怒鳴り声がする
 - ・表情がとぼしい
 - ・衣類や体がいつも汚れている
 - ・夜遅くまで一人で家の外にいる
- 保護者の様子
 - ・地域などと交流が少なく孤立している
 - ・小さい子どもを家において外出している
 - ・子育てに拒否的・無関心
 - ・子どものけがについて、説明が不自然



ひとりで抱え込まないで気軽に相談を！

「あの子どもしかしたら虐待を受けているかも…」「子育てがつかなくてつい子どもにあたってしまう」「近くに子育てに悩んでいる人がある」など、児童虐待を見たり、聞いたり、当事者になってしまいそうな時は、ひとりで悩まないで、子ども相談窓口へ気軽に相談してください。

【日野町の相談先】

- ・子ども支援課(こども家庭センター) ☎0748-52-6583
- ・子育て・教育相談センター ☎0748-53-3838
- 【滋賀県】
 - ・児童虐待ホットライン ☎077-562-8996
 - ・こころんだいやる ☎077-524-2030

問

子ども支援課 子育て家庭担当 ☎0748-52-6583

本の紹介

戦国きょうだいの日本史

著 福田智弘 時事通信出版局

大河ドラマ「豊臣兄弟！」も残すところあと2か月。残念ながら蒲生氏郷は出てきていませんでしたが…。世の中、大河の主人公になるような支えあう兄弟姉妹もいれば、争う兄弟も。豊臣兄弟以外の戦国時代のさまざまな“きょうだい”関係をのぞいてみませんか。



図書館からのお知らせ

「親子で楽しむ日本の伝統芸能～

津軽三味線～」を開催します！

津軽三味線世界大会A級・三連覇を達成し、殿堂入りされている山中のぶと信人さんを図書館にお迎えし、演奏を披露いただきます。世界的奏者によるすばらしい演奏をぜひお楽しみください。



日時 12月6日(日) 18:45開場 19:00開演

入場無料・申し込み不要、どなたでも参加できます！

××× 11月 ×××

月	火	水	木	金	土	日
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29

■…休館日
□…えいが会

◇…図書館ちびっこ広場
○…おはなし会

××× 12月 ×××

月	火	水	木	金	土	日
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

行事予定

「おはなし会」 11月14日(土)11:00～(30分程度) テーマ「音楽」

「おひざでだっこのおはなし会」 11月21日(土) 11:00～(20分程度)
3歳くらいまでの親子を対象に絵本や手遊び、わらべうたなどをしています。

「図書館ちびっこ広場」 11月11日(水)、11月18日(水) 10:00～12:00
0～3歳のお子さんが対象です。

「えいが会」 11月15日(日) 14:00～
『あなたのおみとり』2024年／日本(95分)

問 日野町立図書館 ☎0748-53-1644

青雲之志

～町長コラム～

日野町長 堀江 和博

～「光がしずか」な町を歩く
読書と散策の秋～

今年は、国民的作家・司馬遼太郎氏の没後30年にあたります。全国各地を巡った紀行『街道をゆく』は「近江からはじめましよう」という言葉とともに、第1巻「湖西のみち」から始まりました。

実はこの『街道をゆく』には、日野町も登場します。第2巻『韓のくに紀行』では小野の鬼室神社が取り上げられ、第24巻『近江散歩、奈良散策』では、「にわか」に近江の蒲生郡が見えなくなった」という司馬氏が、半世紀あまり前の亥年のお正月に日野を訪れ、町並みや馬見岡綿向神社を歩いた様子が描かれています。

日野へ入った司馬氏は、まず「正時代にまぎれこんだような家並」に驚きます。「どの家も木口がよく、街路は閑寂ながら整然としていて、

しかもよけいな看板などはなく、品のいい町だった」。家並をたどって神社の鳥居をくぐれば、今度は「境内の結構や社殿がふしぎなほどに品がよかった」と記しています。町にも社にも、司馬氏は同じ「品」を見ていたのです。

やがて筆は、町そのものを包む雰囲気へと向かいます。「町をつつんでいる陽の光までがぎらつかず、空に一重の水の膜でも覆っているように光がしずかだった」。この「光がしずか」という表現に触れたとき、思わず膝を打ちました。日頃から感じながら、言葉にできずにいたものが、そこにありました。

さて、秋は読書の季節であり、散策にも心地よい季節です。この秋は、一人で、あるいはご家族やご友人と、ふらりと気の向くままに出かけてみてはいかがでしょう。見慣れた地元の道も、以前から行ってみなかった場所も、きっと違った表情を見せてくれるはずです。もちろん、日野町内の町並みや社寺もおすすです。司馬氏が見た「しずかな光」は、今も変わらず日野の町をつつんでいます。皆様それぞれの読書と散策の秋をお楽しみください。